

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年12月14日（水）

2 確認箇所

5／6号機西側（減容処理設備建屋建設現場）

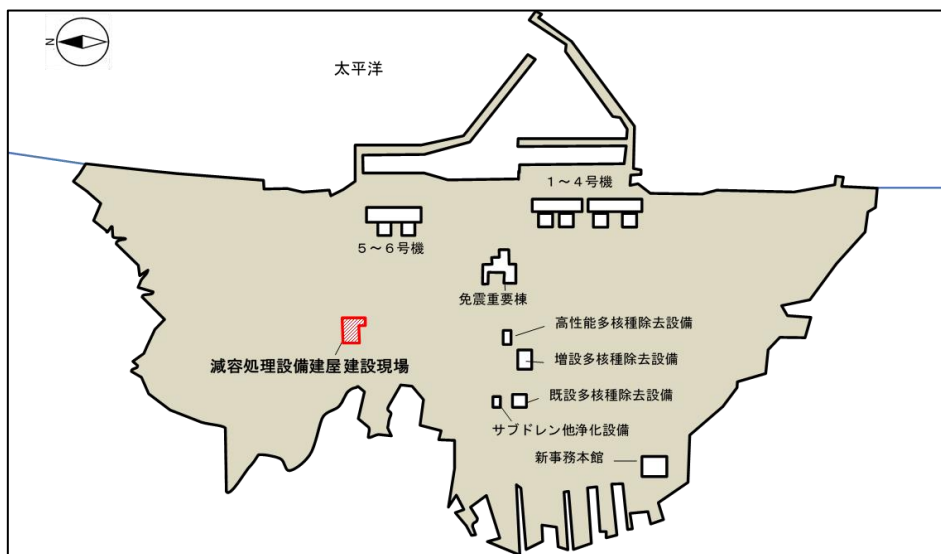
3 確認項目

減容処理設備建屋建設工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力では令和10年度までに廃炉作業で発生した瓦礫類など固体廃棄物の屋外保管の解消を図るため、瓦礫類のうち金属及びコンクリートの減容処理設備の建設を進めていることから、状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年6月13日](#)、臨検監督同行（[令和4年9月27日](#)））（写真1）

- ・建屋の南側では、廃棄物を受け入れる際に放射線量率や重量を確認するためのトラックスケールの整備が進められていた。（写真2）
- ・受入した廃棄物の前処理を実施するための大型金属処理室では、門型クレーンを設置するためのレールが敷かれていた。（写真3）
- ・金属やコンクリートを切断・破碎して減容するための設備が設置されていた。（写真4）
- ・コンクリートの減容処理に伴い発生する粉じんを回収するため、集じん機と集じん用のブロアが設置されていた。（写真5）
- ・東京電力によれば、当該工事は来年の2月頃には設備の設置が完了し、その後は竣工に向けて試運転を実施するとのことである。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
建屋の概観
(令和4年6月13日撮影)



(写真1-2)
同左
(令和4年12月14日撮影)



(写真2)
トラックスケール整備工事の状況



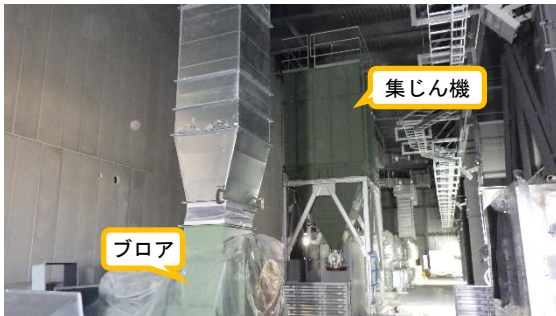
(写真3)
大型金属処理室内の状況



(写真4-1)
金属減容処理室内の状況



(写真4-2)
コンクリート減容処理室内の状況



(写真5)
集じん機の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。